

令和 7 年度

第 1 回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

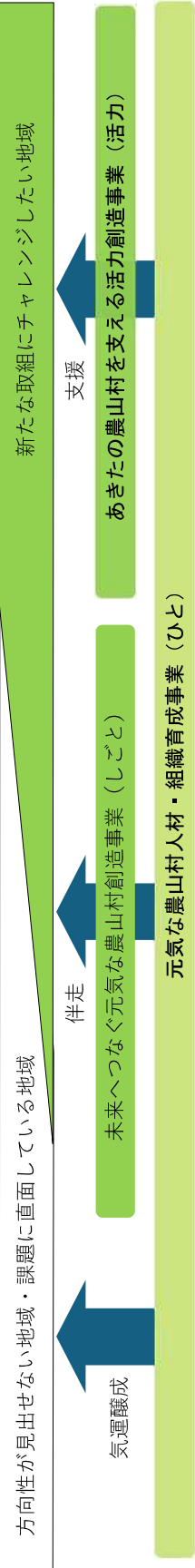
【資料 1】

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

秋田県の農山村振興施策の全体像(基盤・ひと・しごと・活力) 令和7年度

- 農山村の維持・活性化に向けて、農地の保全や整備等の推進により地域の「基盤」を下支えするとともに、新たな取組にチャレンジしようとする地域への支援を「ひと」「しごと」「活力」の観点から展開。

【事業の関係性】



■ 元気な農山村人材・組織育成事業（ひと）

研 修 事 業	実 績
AKITA RISEの実施 【入門編】 - 裾野拡大、意識啓発 - 行政・関係機関のスキルアップ	[AKIRA RISE] R4 入門編：3回 延べ 302人 実践編：7回 17人 (117ポイント)
【実践編】 - 伴走支援の専門講座 - サポーター人材の養成	R5 入門編：2回 延べ 150人 実践編：5回 8人 (87ポイント) R6 入門編：2回 延べ 170人 実践編：5回 25人 (157ポイント)
推 進 事 業	
・ 専門家の派遣 ・ 関係機関の担当者会議による連携強化 (AKITA RAISE)	
R 7 計画	
[AKITA RISE] 入門編：2回 (7/15、7/29) 実践編：5回 (11月以降)	
・ 特設サイトのリニューアル ・ 個別相談窓口の設置 ・ メンター派遣等支援体制の強化	

■ 未来へつなぐ元気な農山村創造事業（しごと）

元 気 な 農 山 村 創 造 プ ラ ン 策 定 事 業	実 績
協議会を設置して行うワークショップや先進事例視察等を通じたプラン策定を支援	[R4～6:プラン策定] ①北秋田大阿仁がっこガーデン ②北秋田市上羽立ほたるのデッキ ③藤里町細毛南白神の里 ④にかほ市横岡ゲストハウス ⑤鹿角市花輪ブルーコーン活用商品 ⑥北秋田市根子ジビエ×宿泊 ⑦藤里町 地元産ブドウ活用 の土産菓子開発 ⑧五城目町銘越 地元産うどん商品 ⑨五城目町 森山ビレッジ×体験 ⑩北秋田市奥阿仁クロモジ活用商品
農 山 村 発 新 ビ ジ ネ ス 創 出 事 業	
キラリと光る地域特産品の開発や「地域資源」×「他分野」による新ビジネスの創出を支援	北秋田市「森のテラス」 にかほ市「Rokumasu」
R 7 計画	
・ 椿森の活用 (田利本壮市田高) ・ 無農薬栽培米ブランド化 (秋田市鶴巻) 等	

■ あきたの農山村を支える活力創造事業（活力）

活 力 創 造 ト ラ イ ア ル 事 業	実 績
(1) 「半農半X」実証拡大事業 参加者と地域をつなぐ中間組織を紹介した「半農半X」の実証調査	[R3～6:半農半X] ①八峰町 (R3～R4) ②にかほ市 (R4～R5) ③鹿角市 (R5～R6) ④由利本荘市 (〃) ⑤大仙市 (〃) ⑥五城目町等 (R6～) ⑦東成瀬村 (R6～) (7地域で計70名参加) [H29～R6:里地里山] 里里サポーターとの共同活動実施 22地域 (延べ約4千人参加)
(2) 地域づくり活動支援事業	[半農半X] 継続：2地区 新規：2地区 ⑧北秋田市 ⑨横手市 [里地里山] 地域活動：5地域 [農村RMO] 形成支援：3地域 [農泊] 連携：1実証：にかほ市
(3) 里地里山保全活動支援事業 「守りたい秋田の里地里山50」認定地域の活動を支援	
地 域 づ く り 総 合 推 進 事 業	
(1) 農村型地域運営組織形成推進事業 (農村RMO)	
(2) あきた農泊推進事業	

■ 基 盤

日 本 型 直 接 支 払
・ 多面的機能支払交付金 ・ 中山間地域等直接支払交付金

基 盤 整 備

水利施設整備、ほ場整備、防災減災

遊 休 農 地 再 生 利 用

- (1) 遊休農地再生利用事業
(2) 最適土地利用総合対策事業

地 籍 調 査

秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金の概要とその運用について

この基金は、中山間地域において農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、農地の利活用及び保全整備等の促進に対する活動支援や、地域住民活動を推進する人材育成等を図るため造成した基金であり、平成5年～平成12年にかけて10億6千万円を積み立てした。

当課は、この基金の運用益の範囲内で事業を実施してきたが、低金利により、運用益だけで事業費を確保することが困難となり、平成16年度から国指導のもと基金元本を切り崩して事業費に充てている。

＜令和6年度運用益 1,217,796円（過去最高の運用益(H24) 5,898,000円）＞

1. 基金残高等について

(円)

	前年度(R5)残高 A	運用益(R6) B	R6事業費 C	取崩額 D=B－C	R6年度末残高 E=A+D
ふる水基金	493,302,581	716,623	17,584,161	－16,867,538	476,435,043
棚田基金	344,992,979	501,173	2,605,430	－2,104,257	342,888,722
合計	838,295,560	1,217,796	20,189,591	－18,971,795	819,323,765

2. 基金を活用した事業一覧（R6実績）

(円)

事業名	R6実績額 (うち基金)	事業内容
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 活力創造トライアル事業	13,523,322 (12,373,322) ※1、※2	「半農半X」の推進や、地域資源を生かした交流活動等による地域づくりに向けたトライアル的な取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 地域づくり総合推進事業	34,000,834 (7,816,269) ※1	農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。
計	47,524,156 (20,189,591)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

3. 基金を活用した事業一覧（R 7 計画）

（円）

事業名	R7予算額 (うち基金)	事業内容
元気な農山村人材・組織育成事業	7,850,000 (7,850,000)	農村資源を活かしたビジネスや地域づくりに取り組む人材・組織の育成を推進する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 活力創造トライアル事業	16,973,000 (16,223,000) ※ 1、※ 2	「半農半X」の推進や、地域資源を生かした交流活動等による地域づくりに向けたトライアル的な取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 地域づくり総合推進事業	50,578,000 (8,328,000) ※ 1	農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。
計	75,401,000 (32,401,000)	

上記の※ 1 は「ふる水基金」、※ 2 は「棚田基金」を示す。

あきたの農山村を支える活力創造事業の令和6年度実施状況について

<事業目的>

地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や、地域外人材による「半農半X」の取組、農泊や農村RMO（地域運営組織）の体制づくり等、地域づくりの第一歩を後押しするとともに、農山村を支える地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

1 活力創造トライアル事業（令和6年度実績 13,523,322円）

「半農半X」の推進や、地域資源を生かした交流活動等による地域づくりに向けたトライアル的な取組を支援する。

（１）「半農半X」実証拡大事業

農業労働力の確保や関係人口の拡大等、「半農半X」を切り口とした新たな可能性を探る調査を実施する。

<令和6年度実績> 事業費 8,152,500円（うち基金8,152,500円）

- ・「半農半X」体験実証調査を鹿角市、五城目町・大潟村、由利本荘市、大仙市、東成瀬村で実施。（体験参加者合計28名）



企業から半農半Xへ参加



滞在中のリモートワーク



地域文化の体験（五城目朝市での出店）

（２）地域づくり活動支援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。
令和6年度までに51団体を支援。

<令和6年度実績> 事業費 1,615,392円（うち基金1,615,392円）

- ・継続 4団体（100千円／団体）、新規 4団体（300千円／団体）



福祉事業所×地元住民との調理体験・食育（農福連携）



樺の群生地と保全と持続的な管理、散策路の整備



地域の伝統文化の継承と農産物と組み合わせた商品開発や体験イベント

(3) 里地里山保全活動支援事業

① 里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

<令和6年度実績> 事業費1,000,000円（うち基金 ー）

里地里山のサポート活動支援事業 実施地域一覧								
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域名	小割沢地域(鹿角市)	大地地域(小坂町)	大里地域(鹿角市)	大里地域(鹿角市)	前山地域(北秋田市)	上羽立地域(北秋田市)	草木谷地域(湯上市)	大地地域(小坂町)
	阿仁戸島内地域(北秋田市)	阿仁戸島内地域(北秋田市)	黒土地域(五城目町)	黒土地域(五城目町)	檜山地域(能代市)	白岩地域(仙北市)		真人山地域(横手市)
	横倉地域(藤里町)	横倉地域(藤里町)	横岡地域(にかほ市)	横岡地域(にかほ市)	綱木沢地域(井川町)	草木谷地域(湯上市)		
	安全寺地域(男鹿市)	安全寺地域(男鹿市)	小沼地域(大仙市)	小沼地域(大仙市)	中村地域(五城目町)			
			三又地域(横手市)	三又地域(横手市)	東由利宿地域(由利本荘市)			
			土沢地域(湯沢市)	前山地域(北秋田市)	楸沢地域(大仙市)			
				檜山地域(能代市)	上羽立地域(北秋田市)			
				綱木沢地域(井川町)	壹ヶ沢地域(秋田市)			
				中村地域(五城目町)				
				東由利宿地域(由利本荘市)				
				楸沢地域(大仙市)				
				白岩地域(仙北市)				
計	4地域(新規4地域)	4地域(新規1地域)	6地域(新規8地域)	12地域(新規7地域)	8地域(新規2地域)	3地域(新規1地域)	1地域(新規なし)	2地域(新規1地域)
累計	4地域	5地域	11地域	18地域	20地域	21地域	21地域	22地域
目標数	4地域	8地域	12地域	14地域	16地域	22地域	24地域	26地域

※活動サポート支援に係る事業は平成29年度より開始している。(支援額は50万円/年度/地域。)

○湯上市「大地地域」（令和6年度）

自治会及び地域の農業法人が協力し、地元産品を提供する「ネギまつり」を開催した。地元産の米とネギを使用しただまこ鍋の提供やネギの掴み取りや取り放題などを実施し約300人が来場し、大いに賑わった。



大地「ネギまつり」



ねぎ取り放題企画の様子

② 里地里山のプロモーション活動、情報発信等

- ・秋田県種苗交換会、ブラウブリッツ秋田ホーム会場において、ポスター掲示やパンフレット配布、物産販売等を実施
- ・認定地域の魅力等のPR（情報発信推進員による取材内容を県ホームページ等で情報発信）
- ・「第25回あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール」を開催（秋田県土地改良事業団体連合会と連携実施）

<令和6年度実績> 事業費2,755,430円（うち基金2,605,430円）



ブラウブリッツ秋田ホーム会場プロモーション活動
(秋田市八橋運動公園内)



写真コンクール入賞作品
(湯上市「草木谷地域」)

2 地域づくり総合推進事業 (令和6年度実績 34,000,834円)

農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。

(1) 農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(国費)

＜令和6年度実績＞ 事業費21,678,519円(うち基金106,519円)

- ・地域資源の活用、農用地の保全、生活支援に取り組む農村RMOの形成を支援(3地域)

(2) あきた農泊推進事業

農泊ビジネスの起業研修や農山漁村地域の魅力を広く訴求する情報発信等を実施。

＜令和6年度実績＞ 事業費 10,235,717円(うち基金6,280,717円)

- ・農泊ビジネス起業研修の実施(7名)と起業者の施設改修等への支援(2名)
- ・農家民宿のweb広告プロモーションや農泊事業者の発信技術向上を図るワークショップの実施
- ・北秋田市阿仁地域の事業者が連携したツアー商品開発のためのワークショップやモニターツアー
- ・農泊ネットワーク推進会議の開催

(3) 地域づくり推進事業

- ・農福連携研修会等の実施
- ・営農型太陽光発電モデルの実証 等

＜令和6年度実績＞ 事業費 2,086,598円(うち基金1,429,033円)

- ・上記(1)～(2)の推進費(旅費、需要費等)

ピックアップ

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入定着を推進する取組を支援します。県内3地域で実施しています。（藤里町ふじさと粕毛地域活性化協議会、三種町下岩川地域づくり協議会、にかほ市麓のカラコ協議会）

中山間地域の保全に向けた農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

- 中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活環境（買い物・子育て等）など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化。
- このため、地域コミュニティ機能の維持・強化に向けて、集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者が連携して協議会を設立し、農用地保全や生活支援等を実施。

農村型地域運営組織（農村RMO）※1



※1 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。
農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）※2の一種形態と整理。
農林水産省では、令和4年度に「農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業」を創設し取組を推進。

※2 地域運営組織（RMO）

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。【総務省IPより】

出典 農林水産省農村振興局農村政策部 中山間地域の農用地保全と農村型地域運営組織（農村RMO）の形成について（令和7年4月）

【2地域における取組事例】

藤里町粕毛地域ふじさと粕毛地域活性化協議会

○取組内容

そば及び木苺などの栽培面積、加工品づくりにつながる農産物、農家民泊・農家レストランなどの利用者を増やすとともに、組織体制を確立し、農用地や農業用施設も含めた地域環境を保全する。



にかほ市横岡地域麓のカラコ協議会

○取組内容

広大な棚田を土地利用・維持管理できる体制を確立し、持続性を確保する。また、ゲストハウス運営や体験メニューの磨き上げなど、様々なビジネスを通じ、継続的な取組としていく。



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業に興味のある方は秋田県農林水産部農山村振興課調整・地域活性化チームへ

あきたの農山村を支える活力創造事業の令和7年度実施内容について

＜事業目的＞

地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や、地域外人材による「半農半X」の取組、農泊や農村RMO（地域運営組織）の体制づくり等、地域づくりの第一歩を後押しするとともに、農山村を支える地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

1 活力創造トライアル事業

「半農半X」の推進や、地域資源を生かした交流活動等による地域づくりに向けたトライアル的な取組を支援する。

（１）「半農半X」実証拡大事業

「半農半X」の全県展開を図るとともに、これまでの成果をとりまとめ報告会を開催する。

＜令和7年度の計画＞ 事業費 6,821,000円

- ・「半農半X」体験実証調査を4地域で実施（継続2地域、新規2地域）
- ・成果報告書の作成と成果報告会の開催

（２）地域づくり活動支援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。

＜令和7年度の計画＞ 事業費 1,619,000円

- ・令和6年度採択の4団体について2年目の支援を行うほか、新たに取組を行う団体を募集し、3団体を新たに支援する。

（３）里地里山保全活動支援事業

＜令和7年度の計画＞ 事業費 8,533,000円

① 里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

- ・5地域で実施予定（上限500千円／地域）

② 里地里山のプロモーション活動、情報発信等

「守りたい秋田の里地里山50」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動やパンフレット作成、「里地里山めぐりマップ」の作成等を実施する。

- ・プロモーション活動（種苗交換会、各種イベントにおけるパネル展示等）
- ・フォトコンテスト（あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール）
- ・認定地域の魅力等のPR（ウェブサイトを通じた地域の活動内容の発信等）
- ・実際に里地里山に足を運んでもらうためのモデルコースとマップの作成

2 地域づくり総合推進事業

農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。

（１）農村型地域運営組織（農村ＲＭＯ）形成推進事業（国費）

＜令和７年度の計画＞ 事業費 40,291,000 千円

- ・地域資源の活用、農用地の保全、生活支援に取り組む農村ＲＭＯの形成を支援（３地域）

（２）あきた農泊推進事業

＜令和７年度の計画＞ 事業費 8,098,000 千円

- ・農泊事業者等による連携モデルの構築実証
- ・農家民宿・農家レストランの移住起業者・事業承継者向けの研修の実施
- ・農家民宿等の起業や受入に必要な設備費等への支援

（３）地域づくり推進事業

＜令和７年度の計画＞ 事業費 2,189,000円

- ・農福連携研修会の実施
- ・営農型太陽光発電モデルの実証
- ・上記（１）～（２）の推進費（旅費、需要費等） など

元気な農山村人材・組織育成事業の令和7年度実施内容について【R7より基金活用】

<事業目的>

農山村地域の活性化を図るため、農村資源を活用した地域課題に取り組んでいる人材や組織（農業・観光・地域交流活動等）の一層のレベルアップを図るとともに、広範な分野を巻き込んだ組織への発展や、これまでの取組を活かした新たなビジネスや付加価値の創出に繋がる各種研修を実施する。

1 研修事業

地域の活性化活動の主体となる人材や組織を育成するための研修を実施。

○ 秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA RISE」（アキタライズ）

農山村地域の活性化や地域課題に携わる人材・組織を育成を目的に、地域で主体的な活動を展開するためのスキルアップのほか、新ビジネス等の具体的取組のプラン（構想）策定に向けた研修等を実施。入門編（全2回）、実践編（全5回）の2部構成。

研修を通して、地域活性化に向けた同じ志を持つ者同士の「ネットワークづくり」を進め、地域活性化に主体的に取り組む人材や組織の育成を目的とする。

<令和7年度の計画> 事業費 7,170,000円

- ・7月に開催の入門編研修では、160人が参加
- ・11月からの実践編研修では、受講者が講師やメンターの指導を受けながらプロジェクト構想を策定予定

2 推進事業

農山漁村地域の活性化に向けた活動を支援するとともに、市町村や関係機関・団体からなる推進会議を開催する。

（1）地域活動支援

<令和7年度の計画> 事業費 427,000円

- ・専門家、サポート人材の派遣

（2）あきた農山漁村活性化推進会議「AKITA RAISE」（アキタレイズ）の開催

庁内関係各部局や市町村、関係団体等を対象とし、地域活性化に係る施策や取組事例の情報共有、テーマに沿った意見交換等を通じて、農山漁村の活性化に関わる職員等の伴走力向上を図る。

<令和7年度の計画> 事業費 253,000円

- ・推進会議の開催

秋田県農山漁村プロデューサー養成講座

AKITARISE

入門編

地域の想いをカタチに。

第1回 7/15(火) 13:00-18:00

第2回 7/29(火) 13:00-18:00

※入門編は全2回構成です。

コンセプト

アキタ ライズ

AKITA RISEでは、地域活性化の「今」を知り、未来を考えるきっかけとなる入門編プログラムを開催いたします。地域の課題を考えたり、アイデアをカタチにできず悩んでいる人を積極的に募集します。

小さくも動き出すことや地域の人々で取り組むことについて、考えていきます。

募集対象

- ☒ 地域づくりに関わりたい、地域課題の解決に動きたいが、まだ具体的に動き出せていない方
- ☒ 地域で育ち何かしたいが、何から始めるか迷っている方
- ☒ 身近な資源を活かした新しい取り組みに関心がある方
- ☒ 自分が暮らす地域をもっと知り、考えを深めたい方
- ☒ 活動のヒントがほしい方

参加費無料

交通費(駐車場含む)は自己負担になります

会場：秋田拠点センターアルヴェ きらめき広場
住所：〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町4番1号 秋田拠点センターアルヴェ1階
主催：秋田県農林水産部農山村振興課
企画・運営：株式会社 Rond

アルヴェ1階 きらめき広場へのアクセスはこちら (アルヴェフロアマップ)
<https://www.alve.jp/information/floor/floor1f>



タイムテーブル(予定)

第1回 7/15 地域を考えるとからはじまる農山漁村	
13:00~13:10	開会・趣旨説明
13:10~14:00	基調講演 株式会社おてつたび 代表取締役 永岡 里菜 氏 「地域課題解決の可能性と地域づくりのおもしろさ」
14:00~14:30	パネルディスカッション ① 「株式会社おてつたびの考える農山漁村の可能性」
14:30~14:40	休憩
14:40~15:10	パネルディスカッション ② 「過去の受講者が思う、秋田の農山漁村の可能性」
15:10~17:00	地域魅力発見ワークショップ グループでお互いの地域の魅力について話し合います
17:00~17:10	閉会
17:10~18:00	交流会 個別相談 (希望者のみ)*

第2回 7/29 楽しいところに人が集まる農山漁村	
13:00~13:10	開会・趣旨説明
13:10~13:40	基調講演 一般社団法人いであい 代表理事 境田 洋春 氏 「小さな地域での住民とつくる組織」
13:40~14:20	パネルディスカッション ① 「集落の本音、山あり谷あり」
14:20~14:30	休憩
14:30~15:10	パネルディスカッション② 「今すぐ使える地域づくりのウラワザ」
15:10~15:20	休憩
15:20~17:00	地域魅力発見ワークショップ グループで地域の抱える課題の解決方法を話し合います
17:00~17:10	閉会
17:10~18:00	交流会 個別相談 (希望者のみ)*

プログラム詳細



ファシリテーター

明星大学 教授
伊藤 智久氏

明星大教授としてイノベーション等を研究・教育し、起業支援や地方創生にも尽力



第1回登壇者・パネリスト

株式会社おてつたび 代表取締役

永岡 里菜氏

お手伝いと旅を掛け合わせた人材マッチングサイト『おてつたび』を運営中



第1回パネリスト

合同会社Anique 代表
斎藤 美奈子氏

林檎の発泡酒づくりや地域拠点運営を通じて地域資源を活かす取り組みを実践



第1回パネリスト

たすえむ

原田 結夏氏

無農薬米の栽培や直売所づくりに挑み、農と暮らしの関係を深めている



第2回登壇者・パネリスト

(一社)いであい 代表理事

境田 洋春氏

奥州市伊手地域で交通や旧校舎活用など持続可能な地域づくりを推進



第2回パネリスト

(一社)いであい 理事

菅野 千秋氏

農福連携や旧伊手小活用を通じて、地域活性と持続可能な農業を推進

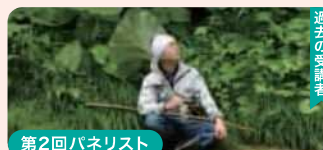


第2回パネリスト

いわて地域づくり支援センター 常務理事

若菜 千穂氏

農山村の交通計画と地域づくりを専門とし、岩手県で地域の課題解決力向上にも取り組む



第2回パネリスト

もりごもり

益田 光氏

北秋田市のマタギとして循環型の事業を展開する他、文化継承等にも取り組む



第2回パネリスト

農事組合法人田高

三浦 善信氏

椿森の資源を活かした商品開発や神社の維持など地域密着の活動を展開

※交流会 個別相談について 過去の受講者の出展ブースを設け、会場にきた様々な人が気軽に交流できる場です。どうぞお気軽にご参加ください

AKITA RISE
相談窓口

地域の悩みや課題をなんでもご相談ください!

AKITA RISEでは、皆さんが在住もしくは活動している地域の悩みや課題について、なんでも相談できる窓口を設置しています。
「地域の祭りが人手不足で無くなってしまいそう…」など、どんな些細なことでも相談できます。



申込み方法

右のQRコードから、専用応募フォームへアクセスの上ご応募ください。

お問合せ info@rondo-nikaho.com 応募URL https://akitarise.jp



